

共産党躍進で安倍政権サヨナラ

新久喜

発行
日本共産党
久喜市委員会
久喜市南4-11-22
Tel.22-2365



市民が願う政治実現へ 日本共産党久喜市議団

2019年、選挙の年が始まりました。昨年の国会では公文書偽造、ねつ造だけでなく、隠し逃げる、又、強引な国会運営に終始する安倍暴走政権でしたが行き詰まっています。

空前のもうけを上げている大企業や富裕層には減税し、所得を減らしている庶民には消費税増税を押しつける、こんな政治を続けさせるわけにはいきません。暮らし第一の政治を実現したいと、高すぎる国民健

康保険税の均等割をなくすなど、提案を行っているのが日本共産党です。

安倍首相が消費税10%を掲げて戦う選挙が今年の統一地方選挙と参議院選挙です。安倍首相の憲法9条改憲を断念に追い込む絶好の機会でもあります。

市民と野党の本気の共闘を成功させ、その要となつて頑張る日本共産党の躍進で、安倍自公政権に退場の審判を下しましょう。2019年を新しい歴史の扉を開く年にしようではありませんか。

2019年、国民が願う政治実現へ転換するチャンスを迎えました。

久喜市では、昨年若い市長が誕生し久喜市政に新風が起きると期待が膨らみました。

しかし、主な施策を検証してみると、「見直す」とした「大規模給食センター」は、「これまでの案が最善」と変化なし。「自校方式」への転換を願ひ署名した11000人の期待を裏切る公約違反です。

さらに、公共の利益、社会教育を担う図書館事業まで、営利を目的とする企業に「指定管理」させます。

議会では、党議員団提出の「消費税増税の中止を求める意見書」への賛成は共産党と「市民の政治」など8名のみで否決でした。

国政でも市政でも、国民の願い実現に向けた政治の転換が求められています。

市民が願う政治実現に向け、党議員団も団結して全力を尽くします。



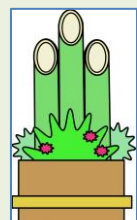
梅村 さえこ



伊藤 岳

日本共産党参議院
比例代表予定候補

日本共産党参議院
埼玉選挙区予定候補



憲法9条改憲反対

市民と野党本気の共闘を

昨年安倍政権は、憲法9条に自衛隊を明文化し、海外で武力行使ができる「自民党改憲案」を、憲法審査会に提出しようとしていました。

しかし、安倍自公政権の横暴や強権政治は許さない、立憲主義、民主主義、平和主義を守ろう、憲法を守ろうと、「本気の共闘」が国会でも粘り強く続けられ、市民と野党の力でこれを断念させました。これは貴重な成果です。

9条改憲は、72年にわたって定着した日本の平和外交、海外協力、「戦争をしないう国」のメッセージを投げだしてしまう事になり、世界での信用と信頼 存在価値を失う事になります。

「人間らしさ」を取り戻し未来社会にもつながる「憲法9条守ろう3000万署名」を「オール埼玉」の運動に連帯し、地域の駅頭や街頭で、粘り強く訴え続ける事が必要です。

今年も本気で頑張りますよう。

ホットライン

友への 年賀状

新しい年、元気で迎えられましたが。具合の悪かった膝はいかがですか。

地域で一緒に住民活動をしてきた1989年。竹下内閣に消費税を初めて導入されたとき、「国の財布は大変なのだから3%くらいなら」という風潮が撒き散らされる中、私たちは「今度の増税は大増税につながる入り口だ」といって署名に宣伝に走り回ったものでしたね。案の定、安倍内閣は財界の要望に応え、2桁の増税に走っているのですから、当時の私たちの運動は間違っていないかったと言えますね。

しかも安倍内閣が仕組んだ今回の大増税は、私たちの暮らしを支える社会保障費を1200億円も削り、5年で27兆円もの軍事装備品を買うというのですから、子や孫のことを考えると今、黙ってはいられなくなります。

軽減税率とか9ヶ月だけのキャッシュレス還元といつても、増税は増税、焼け石に水。日本経済の空洞化を招く天下の愚作。中止させましょう。

「天に向かつて唾を吐く」とはこのことでしょうか！(Y)